

# 石川探究スキル育成プロジェクト 校内研修 (平成29年8月31日 [木] 七尾高校)

テーマ

「批判的思考力を育成するための授業の工夫」 講師 杉森 公一 氏  
(金沢大学国際基幹教育院 高等教育開発・支援部門 准教授)



本校では金沢大学の杉森公一先生をお招きして、「批判的思考力を育成するための授業の工夫」をテーマに校内研修を行いました。



アクティブラーニング (AL) から「深い学び」を目指すことに主眼を置いた今回の研修では、教員全員が事前に杉森先生の動画を視聴し、「予習」をして当日に臨みました。AL型授業で用いられるクリッカー (※) も実際に使用し、生徒の立場でAL型授業を体験することが出来ました。

〔※ 生徒一人一人に配付される、数字ボタンの並んだ小型装置。何人がどの数字のボタンを押したかが瞬時に集計・グラフ化されるため、授業内でのアンケート等に活用される〕

講義の中では様々なデータから、近年の高校生及び大学生において主体的な学びが失われつつあること、そのために高校でよい成績をとった学生が大学で苦勞する現状のあることが示されました。こうした状況を改善するために「高大接続改革」が進められており、高校においてもALを促すしくみを取り入れた授業改善の求められていることが説明されました。

AL体験型の研修ということで、これまでの授業実践の振り返りを目的としたワークショップの進め方にも、参考となる工夫が施されていました。個人で考えた後にパートナーと話し合い、さらに全体で考えの共有を図る「シンク・ペア・シェア」、あるいは、一人ずつ順番に自分の考えを話す「ラウンド・ロビン」といった手法を使い分け、それぞれの考えを共有しました。



講義・演習は一貫して生徒目線から進められました。その中で他教科の教員と学習の目標・活動・評価について話し合いを持つことにより、生徒の主体的な学びを如何にして実現するかという視座を得ることが出来ました。七尾高校の教員一同、これからの授業の中で、この日の学びの成果を実践に活かしていきたいと思えます。

